

# 第188回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成23年11月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,651	-0.44	-0.14	4,099	1.03	0.04
東部地区	14,418	0.06	0.18	5,733	0.12	0.08
西部地区	10,595	-0.72	-0.04	3,999	-0.42	0.00
駅南地区	6,280	0.17	-0.15	2,699	1.19	0.03
半田地区	3,633	0.41	-0.05	1,370	0.95	-0.14
横山地区	5,675	0.28	-0.10	1,903	1.27	0.10
茨目・田尻地区	6,991	0.41	-0.15	2,374	1.19	-0.04
荒浜地区	5,044	-1.02	-0.13	2,016	-0.64	-0.29
その他地区	20,294	-1.61	-0.22	7,181	0.05	-0.11
西山町地区	6,228	-0.55	0.27	2,144	0.75	0.42
高柳町地区	1,818	-4.36	-0.05	820	-2.61	-0.36
柏崎市計	90,627	-0.59	-0.06	34,338	0.33	0.00
刈羽村	4,869	-0.40	0.08	1,575	1.15	0.06
小国地区（長岡市）	6,143	-1.97	-0.24	2,114	-0.04	-0.14
出雲崎町	5,074	-0.89	-0.11	1,805	-0.11	0.11
合計	106,713	-0.68	-0.07	39,832	0.32	0.00

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で542人、0.59％、刈羽村で20人、0.40％、小国地区（長岡市）で124人、1.97％、出雲崎町で46人、0.89％とそれぞれ減少し、全体では732人、0.68％の減少となっている。また、前月比においても、刈羽村で4人、0.08％増加したが、柏崎市で58人0.06％、小国地区で15人、0.24％、出雲崎町で6人、0.11％減少したため、全体では75人、0.07％減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で2世帯、0.11％、小国地区で1世帯、0.04％減少したが、柏崎市で114世帯、0.33％、刈羽村で18世帯、1.15％と増加したことから、全体では129世帯、0.32％の増加となった。また、前月比においては、出雲崎町で2世帯0.11％、刈羽村で1世帯、0.06％増加したが、柏崎市で1世帯、0.00％、小国地区で3世帯、0.14％減少した結果、全体では1世帯、0.00％減少している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,300		22.87		-1.73	
月間有効求職者	2,016		-1.70		-3.77	
月間有効求人倍率	0.64	0.70	0.12*	0.11*	0.01*	0.03*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,300人と前年同月比で242人、22.87％の増加となったが、前月比では23人、1.73％減少している。

月間有効求職者数は、2,016人と前年同月比で35人、1.70％の減少となり、前月比でも79人、3.77％減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.64倍と前年同月比で0.12ポイント上回り、前月比では0.01ポイント上回っている。なお、県平均0.70倍と比べると0.06ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が562人と前年同月比で111人、24.61％の増加、月間新規求職者数が502人と前年同月比で14人、2.72％減少した結果、月間新規求人倍率は1.12倍となり、前年同月の0.87倍に比べて0.25ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成23年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	21	3	-5	266	78
共 同 住 宅	3	3	-1	24	19
事 務 所	0	0	0	4	0
作 業 所・工 場	0	-1	-1	13	3
営 業 建 物	0	-1	-2	16	6
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	14	11	13	64	-3
合 計	38	15	4	388	103

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況については、平成23年3月までは市受付分のみの集計でしたが、平成23年4月からは民間確認検査機関の受付件数を含む集計を掲載しております。なお、対前年同月比は平成24年3月分までは市受付分との対比となっております。当月の申請合計は38件と前年同月比で15件、前月比では4件の増加となっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が32件、増築が6件となっており、また一般住宅（併用）21件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が11件（うち新築8件、増築3件）、市外施工業者が10件（うち新築9件、増築1件）、となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,633	0.63	-0.19	17,374	-8.99	5.59
電 力	10,540	-2.53	1.20	37,165	-4.22	-2.46

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で413口、0.63%増加したが、前月比では129口、0.19%減少している。一方、電力においては、前年同月比で274口、2.53%減少したが、前月比では125口、1.20%増加している。

使用量は、電灯が前年同月比で1,717kwh、8.99%減少したが、前月比では、921kwh、5.59%増加している。一方、電力においては、前年同月比で1,641kwh、4.22%減少し、前月比でも941kwh、2.46%の減少となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	983,785	-1.94	34.05	686,372	-0.77	-0.98
営 業 用	168,745	-8.29	26.04	113,121	-8.30	-3.60
工 場 用	750,404	11.34	6.56	128,937	-4.19	8.14
官 公 学 校 用	317,619	-16.22	46.33	72,365	-3.38	-6.50
そ の 他				339	156.81	564.70
合 計	2,220,553	-0.88	24.12	1,001,134	-2.30	-0.60

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で19,821m<sup>3</sup>、0.88%減少したが、前月比では431,598m<sup>3</sup>、24.12%と大幅な増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では、工場用を除くすべての用途で減少しており、前月比では、すべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で23,612m<sup>3</sup>、2.30%の減少となり、前月比でも6,088m<sup>3</sup>、0.60%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比で、その他を除くすべての用途で減少しており、前月比では、家庭用、営業用、官公学校用で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	87,567	-2.02	-5.53	92,315	-0.76	-3.11
西 山	39,351	-4.17	-8.23	35,873	-5.46	-8.96
米 山	23,177	17.38	0.12	18,812	4.25	-12.56
合 計	150,095	-0.06	-5.43	147,000	-1.35	-5.89

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で92台、0.06%減少しており、前月比では8,634台、5.43%減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で2,012台、1.35%の減少、前月比でも9,206台、5.89%の減少となっている。

入口では、前年同月比、前月比とも、柏崎と西山インターが減少している。一方、出口では、柏崎インターと西山インターが、前年同月比で減少しており、前月比では、すべてのインターで減少している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	354,344	0.53	-0.24	148,100	-0.46	0.59
平 残	357,214	0.85	-0.04	147,244	-0.21	-0.51

預金は、末残が前年同月比で1,873百万円、0.53%増加となり、前月比では、876百万円、0.24%減少している。また、平残においては、前年同月比で3,021百万円、0.85%増加し、前月比では162百万円、0.04%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で693百万円、0.46%の減少となり、前月比では870百万円、0.59%増加している。平残においては、前年同月比で312百万円、0.21%減少し、前月比でも765百万円、0.51%の減少となった。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	27,587	-16.50	3.10
交 換 金 額	20,006	-22.49	4.83
不 渡 り 手 形 枚 数	31	-20.51	-27.90
不 渡 り 手 形 金 額	34	53.56	-72.71

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で5,453枚、16.50%減少したが、前月比では831枚、3.10%増加している。また、交換金額においては前年同月比で5,807百万円、22.49%減少しており、前月比では922百万円、4.83%の増加となっている。なお、不渡手形は31枚、34百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産9件（前年同月5件、前月2件）、負債総額88億円（同18億円、同6億円）となっている。地区別では、中越地区で4件（長岡市2件、見附市2件）、下越地区で3件（新潟市3件）、上越地区で2件（糸魚川市2件）発生している。業種別は、販売業3件、サービス業3件、建設業2件、製造業1件となっており、倒産原因は、販売不振8件、経営多角化の失敗が1件となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で4件の増加となり、負債総額では70億円の増加となっており、前月比では件数は7件増加し、負債総額は82億円増加している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が2件発生している。

県内倒産状況は、倒産件数、負債総額ともに前月比大幅増となり、負債総額は過去3年で最多となった。震災以降徐々に景気は回復しているものの、今後も震災や円高、タイの洪水などの影響は続くと思われる。世界的に不安定な経済情勢が続いており、引き続き県内の倒産動向は増加傾向で推移する可能性がある。